

**久留米広域連携中枢都市圏
平成29年度 第1回ビジョン懇談会 全体会 議事録**

(1) 日 時：平成29年7月5日（月）13：00～14：45

(2) 場 所：久留米シティプラザ 5階 大会議室

(3) 出席者：ビジョン懇談会委員29名（4名欠席）

事務局4名

各ワーキンググループ職員

※ワーキンググループは以下WGと表記

(4) 次第及び議事： 〔○…委員質問・意見 ●…事務局等回答〕

1. 開会
2. 久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会副座長の選任 委員からの立候補など意見がなかったため、事務局より椎山委員を副座長とする案を提案し、了承された。
3. 議事
(1) 久留米広域連携中枢都市圏 平成28年度事業実績・決算及び平成29年度事業計画・予算
<p>〔経済成長のけん引の分野について説明〕</p> <p>○連携中枢都市圏事業において、雇用創出の目標値はあるのか</p> <p>○新産業団地整備事業の重点分野として、なぜ、自動車産業や食品関連産業を掲げているのか。</p> <p>●連携中枢都市圏事業の全事業において、具体的な雇用数を目標には掲げていない。</p> <p>●新産業団地整備事業では、久留米市とうきは市の市境のエリアにおいて事業を進めている。隣接地の吉本工業団地には、ダイハツ九州のエンジン工場など自動車関連企業などが立地している。県においても北部九州の自動車関連産業の集積を推進していることから、新団地においても自動車関連産業の集積を進めている。また、この地域は、農業が盛んであることから、豊富な農産物を活用した農商工連携や6次産業化などの企業誘致を目指している。</p> <p>○農産物の販売力強化において、民間企業との連携などどのように図っていくのか。</p> <p>●農産物の海外輸出については、田主丸の農家では柿を東南アジアへ輸出している。また、九州大学と連携して海外輸出の研修を行っており、試験販売をする研修なども行っている。実際に農産物を輸出している事例も少しではあるが出てきている。</p> <p>○中小企業が行っている農産物の海外輸出を市が主体となって取り組むことは考えられないか。</p> <p>●海外輸出となると単独自治体では困難であり、国、県の動向が重要である。久留米市においても福岡県が主催する海外での見本市などにJAなどと連携して出店をしている。</p> <p>〔都市機能・生活関連機能サービスの分野について説明〕</p> <p>○地域振興促進事業は、各市町で行われている事業か。</p> <p>●そのとおりで、各市町で行われる祭やイベント等を連携中枢都市圏事業と位置づけている。</p> <p>○今後、共同で実施することは考えられるか。</p> <p>●現時点では、考えていない。</p>
(2) 成果指標について
<p>〔成果指標について説明〕</p> <p>質疑なし</p>

<p>(3) 平成29年度新規事業について</p> <p>〔平成29年度新規事業について説明〕</p> <p>質疑なし</p>
<p>(4) アンテナショップ事業について</p> <p>〔アンテナショップ事業について説明〕</p> <p>○2階への動線を考えた場合、来館者数の目標が高いように思えるが、どのように考えているのか。</p> <p>●来館者数の目標は1、2階を合わせた数字である。確かに2階への誘導は、課題であると考えている。目標値については、近隣アンテナショップの来館者数などを勘案し設定しており、目標達成に向けて努力していく。</p> <p>○2階でイベント等を行う上で、厨房設備が重要であると考えているが、どのような設備があるか。</p> <p>●厨房には、IHの調理器を置く事としており、温める程度である。</p> <p>○2階の運営は、運営事業者が行うのか。</p> <p>●運営事業者が運営する。</p> <p>○オープン時には、どのくらいの品数になるか。</p> <p>●1階は、500品目程度、2階は伝統工芸品など100～150品目を置く予定であると運営事業者から聞いている。</p>
<p>(5) その他</p> <p>●この圏域における雇用状況を説明する。</p> <p>有効求人倍率（全国：1.49 県：1.48 筑後地域：1.23 4市2町：1.04）</p>
<p>(3) その他</p> <p>●28年度の最終実績、成果指標の整理等を行いたい。11月頃に、分科会及び全体会を開催し、次年度計画などを議題として行いたい。</p> <p>○これで本日の懇談会は終了する。</p>